



## 旭が丘小学校だより

令和4年6月28日 第12号

文責 校長

### ～梅雨明けと節水・節電～

例年よりかなり早く、梅雨明けとなってしまいました。夏空を早く見れる点は嬉しいのですが、これまで以上に日差しと熱中症に厳戒が必要です。そして間違いなく水不足と電力不足が訪れます。学校で極力節水・節電を呼びかけて、その時に備える姿勢を育てたいと考えています。学校での課題は節電です。つけばなしの教室や廊下を見て、スイッチに手が伸びる子どもを育てたいと思います。



### ◇ 朝の立哨等ありがとうございます ◇

6月28日をその日としている誘拐を促す悪質なメールが、大村市だけではなく全国的に出回っています。このことを受け、先週注意を促すメールをお送りしましたところ、27日月曜日の朝、非常に多くの保護者の方、地域の方が朝の見守りに協力をしてくださっていました。心より感謝申し上げます。

このような誘拐を促す悪質メール事案は今回で2回目です。どれだけの信ぴょう性があるのか正直疑問もありますが、学校としては毅然と対応していく所存です。今回の件を通じて、登下校時や地域における安心安全に対する意識を、皆さんと高めていければと考えています。

### 6月27日(月) 命に関するリモート集会

先日、旭っ子の心を見つめる教育週間の取り組みとしてリモート集会を実施しました。命に関する講話をし、その後学年の実態に応じて命の指導をしました。

話の柱は、命はなぜ大切なのか、大切な命をこれからどうやって生かしていくか、の2点です。大昔から命は網のようにつながっている「命のつながり」と、命は多くの人々の思い支えによって、糸のように紡ぐものであるという「命の紡ぎ」について話をしました。低学年には難しかったかもしれません。

また、6年生が書いた「命はなぜ大切なのか」のコメントを数人ですが紹介しました(右枠内の6年生)。奥の深い考えだなと非常に感心しました。

今世界では、命の取扱いが非常に厳しく、浅いように感じます。戦争、飢餓、人権問題等…。学校で学んだはずなのですが…。今こそ向き合わせたい問題です。命についての意識をこれからも高めていきます。



- 命は目に見えない宝物だ…榎原由栞さん
- いろいろな未来が待っている…中路莉緒さん
- 命があるのは奇跡だから大切…大浦るかさん
- 未来の世界を支えるもの…草野ひかりさん
- 親が命を懸けて生んでくれた…橋本銀雅さん
- 命はそれぞれ支えあっている…朝永 光さん
- たった一つで無くすと会えない…張本千咲さん
- 1つだけでお金で買えない…高木優那さん
- ゲームの様にリセットできない…一瀬睦貴さん
- うれしい、悲しい、ドキドキする等の感情は命がないと感じない …沖田結理さん
- 生きて何を残せるか、が私たちの生きている宿題だと思うので命は大切 …渡邊翠水さん
- 命には心がある …池田真唯さん